

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		ひかりクラブ		公表日		R7年 2月 26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	人員配置的には問題がなく、医療的ケア児への対応等も行えるよう看護師・認定特定行為従事者の配置もおこなっている	利用児の特性・支援内容により時間帯的に不足する場合もある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	ワンフロアでの活動であり、利用児に危険がないよう物品配置を行っている	他事業所との共有スペースがあり、人の動き等で配慮すべき事柄もある	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	清掃・消毒・換気は日々行っている。	他事業所との共有スペースがあり、人の動き等で配慮すべき事柄もある。利用児数が多い日には少し窮屈な場面も見受けられる	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	ひかりクラブフロアと別に2Fフロア・スナースレンルームの活用が可能となっている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	基本的にミーティングにて職員間で行っており、改善に繋がるよう努めている	各職員の思いの傾聴や取り入れていくことの難しさがある	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	評価表の記載を毎年依頼しており、お答え頂いている	評価表では見えない部分が多々あり、個別にお話をする機会を多く取っていく必要がある	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	毎月のミーティングや日々の業務、朝礼や夕礼でも確認の実施、個別対応にて意見の聞き取りをおこなっている	職員がもっと意見を発言しそれを取り入れていける事業所を目指していく	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	7	行っていない		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	法人での研修を毎月実施している。その他にも必要と判断した事柄については別途研修を実施している		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	支援プログラムの作成は行っており、法人HPへの掲載を行っている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	計画書の策定・モニタリングや個別での対応にて実施しており、計画書への反映させている		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	検討会議にて意見を聴き、幅広い支援が行えるように努めている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	書面・データ化しており、各職員がいつでも閲覧できるようにおり、計画書を基にした支援が行えるようにしている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2	各支援に合わせた計画を策定しており、適切に実施できるようにしている		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	毎月のミーティングや日々の話し合いにて立案を行い実施している		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	5領域に沿った支援が行えるように職員間で話し合い支援を行っている		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	必要に応じておこなっている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	業務開始時に朝礼を行い必要事項の確認・連絡を実施している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	必要と判断した事案については行っているが全体的な事項は翌日の朝礼にて実施している。	勤務終了時間が異なるためその日のうちに周知を行うことが困難となっている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	必要な記録は行っており、それを基に新たな支援の立案や見直しを行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1	適正な時期に実施している。変化がある場合には再度検討書の作成を行い都度更新を行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	児発管の出席を基本とし、必要に応じて多職種に参加を行っている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	4	必要に応じて行っているが、限定的なものとなっている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	基本的に保護者からの情報提供で対応を行っている。送迎時に支援学校への問い合わせ等も必要に応じて行っている	トラブルになることはないが行事等、支援学校側からの情報提供があまりない
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2	保護者または他事業所から依頼があった場合には情報提供を行っている。別途事業所が必要と判断した場合にはコンタクトを行うようにしている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	6		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4	R6年度に第一回協議会が開催され、今後も参加していく予定である	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	2	契約時及び変更があった場合には都度説明をさせてもらっている	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0			
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	1			
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	依頼・相談があった場合には必要な対応をさせてもらっている		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	6	実施していない	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	2	苦情申し立てがあった場合には担当者に報告し	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	定期的な通信の配布及び法人HPへの掲載を行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	適切に取り扱いをさせてもらっている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	法人として行っている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	各種マニュアルの策定及び周知を実施しており、定期的に訓練を行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	策定されており、法人研修及び事業所内研修を実施して必要な訓練の実施を行っている	法人全体での訓練の開催を行っていく必要がある
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	必要に応じて行っている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	聞き取りまたは申告があった場合には検査結果表を基に保護者・管理栄養士・児発管で話を行っている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	策定済みであり、周知等を行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	アクシデント・インシデントが発生した場合には報告書を基に、朝礼等にて対策案を協議し同様の事案が発生しないよう注意をしている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	法人研修・事業所内研修にて実施している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1	身体拘束適正化部会にて全利用児の検討を行っており適切に支援を行っている。使用福祉用具の変更・追加があった場合には随時、検討会議を行っている		